



御菌中だより

清流

令和7年2月28日

令和6年度 伊勢市立御菌中学校
第20号 伊勢市磯町2225

文責 校長 谷口 北斗

教育目標「心豊かで たくましく 今日を生きぬく 御菌中生徒の育成」 Tel. 36-5139 Fax. 36-4701

1枚の写真より「カエルだって♪」

(2006年 ロイター/Pawan Kumar)より

この一枚の写真は、以前にある新聞記事で見つけた写真でもユーモラスで何度見ても見飽きないので、自分が担任をしていた際に学級通信で紹介していたものです。別にこのカエルとネズミは何かの曲芸ではなく、誰かによって仕組まれた写真でもありません。そしてこの記事にはこんなことが書かれていたそうです。

「2006年6月30日、インド北部のラクノーという街で豪雨が続いた。そのため洪水の被害が出始めたが、そこではカエルの背中に乗って避難するネズミの姿が見られた…」

ひょっとしたら、カエルはネズミに乗っかれて非常に迷惑なのかもしれません。しかしどこか不安げなネズミの表情に対して、このカエルの表情を見てみると、自信に満ちあふれており、「**当然のことをしているだけだよ!**」なんて言い出しそうな顔

に見えてきたりはしませんか?「**困った時はお互い様**」という言葉がありますが、みなさんはどうでしょうか?いざ困った人を目の前にした際に、「何か行動をしたいけど、恥ずかしいなあ」とか「周囲の視線が気になるから…」などと消極的になってはいませんか?

4月に行われた全国学力・学習状況調査において「人が困っているときは、進んで助けていますか?」という質問に対して、御菌中学校の生徒は、「当てはまる」「どちらかという当てはまる」と回答した割合が三重県平均を約10%も下回りました。私としては御菌中学校のみなさんには、困った人を目にした際には、このネズミを背中に乗せたカエルのように、あたりまえのようなすずしい顔をして行動していただきたいと願っています。

表彰のお知らせ

◎第79回三重県民スキー大会・スノーボード競技会 クロスカンントリー競技

第2位 1年 北村莉久

◎第45回三重県小中学校書初め展

三重県知事賞 3年 古川紗妃

三重県教職員組合賞 1年 高橋実紅

特選 2年 堀江 楓 前村洵成

入選 1年 熊野いつき 岩村律希 出口愛実 2年 中瀬樹々

3年 阪口琴菜 中村心咲 上田紗綾

佳作 1年 辻村栞里 山本小梅 大東蒼空 濱口一瑳 松崎瑚子

3年 山本紗良 久保翔真 高橋里歩 山下稀良

◎第43回全国中学生人権作文コンテストに対して御菌中学校への感謝状

NO IMAGE

アルミ缶回収へのご協力ありがとうございました

御蔭中学校ホームページ（おかげさまでPV数が27,000を突破しました。ありがとうございます！）のトピックスでもお伝えしましたが、2月26日（水）・27日（木）に生徒会本部役員と総務委員会が中心となって、昇降口にてアルミ缶回収を行いました。最近は様々な利便性からPETボトルが普及したことで、アルミ缶の商品がめっきり少なくなったように思います。そのため各家庭においても、「スチール缶はあってもアルミ缶がない…」という状況も珍しくはありません。そんな中での、アルミ缶回収ですから集まりにくいと思います。本当にありがとうございました。

そのような状況の中でも「家がないから探してきた。」という生徒もいました。アルミ缶がないなら、わざわざ買ってまで用意する必要はありません。しかし、アルミ缶回収があるので、PETボトルの商品をいくつか買う中で、1つくらいアルミ缶の商品を考えてみるなど、何らかの形で参加しようとする姿勢は大切だと思います。どのような行事やイベントでもみんなで取り組むことで、「達成感」「成就感」は得られます。そのような貴重な経験は学校でこそ得られるものです。「興味ないから」「めんどくさいから」と言わず、みんなで行事に取り組むことでのおもしろさを見つけてもらいたいと思っています。

ご協力ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。



御蔭中学校区学校運営協議会(コミュニティスクール)が始まります

令和7年度より、これまでの学校評議員会にかわり、学校運営協議会（コミュニティスクール）を導入します。とりあえずの名称は「御蔭中学校区学校運営協議会」とするつもりです。この学校運営協議会については、令和7年度から市内全中学校、令和8年度には市内全小学校が導入することになっていますが、御蔭中校区はこれまで小中一貫の学校評議員会の形でしたので、引き続き小中一貫としての学校運営協議会となります。御蔭小学校・御蔭中学校は、地域とともに歩む学校の実現に向けて、連携しながら取り組んでいきます。

学校運営協議会とは 保護者や地域の声を学校運営に生かしていく仕組みであり、「地域とともにある学校」の実現を目的とします。市教委に任命された地域住民、保護者、学校運営に資する活動を行なう者を委員として構成し、学校運営や必要な支援について協議し、一定の権限と責任を持って合議体として意見を述べます。学校運営に地域の 人々が参画し、共通の目標に向けて協働するための制度です。詳細につきましては、来年度4月に改めてお伝えするつもりです。